

4年生の様子

4年 担任 中村 拓也

先日、「スマイルサポートこいけ」のみなさんにご協力をいただき、地域の方にインタビューする機会を設けました。総合的な学習の時間で、「よりよい生活のために」をテーマに学習をしています。地域で暮らす高齢者の方々にお話を伺い、生活をより便利に・快適にしている物は何かを教えてくださいました。初めは緊張していた子供たちも、地域の方々の優しい言葉に安心し、積極的に活動する姿がありました。

今回のインタビューの成功の裏には、4・5月の準備がありました。「インタビュー名人になろう！」を目標に、二人一組になって質問したり、答えたりする学習を繰り返ししました。「オープン・クエスチョン」という手法を取り入れ、「たとえば?」、「もう少し詳しく教えてください。」と相手に質問し、「なるほど、なるほど。」、「そうなんだあ。」と意欲的に対話し、答えを聞く子供たちの姿が見られるようになりました。また、相手の子の話を聞き落とさないように、ホワイトボードに素早くメモをすることも出来るようになりました。「楽しいから、もっとやりたい。」、「他のテーマでも話してみたいな。」などと学習の感想には、意欲的な言葉が多くありました。

そのような経験が社会科見学でも生かされました。浅草散策では、台東区のボランティアガイドの方から歴史や文化について話を聞く時間がありました。ただ聞くのではなく、疑問に思ったことを質問して解決したり、リアクションをしたりして、ガイドの方との時間を有意義なものにしました。葛西臨海水族園では、生き物に触れる体験ができるコーナーの職員さんと交流する時間がありました。どの場面でも意欲的に取り組むことができる4年生です。

水泳指導

水泳指導担当 小林 直樹

6月15日より水泳指導が始まりました。今年度は学年での指導になります。本校では「一に安全、二に指導」を重点に1人1人が水泳に対する恐怖心をなくし、安全かつ楽しく学習に参加できるようにしています。水泳は体力向上には最適の運動です。子ども1人1人が、楽しみながら体力を向上できる指導を行うことで、体を動かすことの素晴らしさを感じてほしいと思っています。また、泳ぎの苦手な児童に重点を置き、1つの泳法でより長く泳ぐことができるよう指導しています。そうすることで、水泳を行う場合に守らなければいけない心得や自己の生命を安全に保持する能力を高めるとともに、水に対しての自信をもたせます。

1年生は初めての小学校のプールとあって、「速く泳げるようになりたいな。」と目を輝かせています。6年生にとっては小学校生活最後の水泳です。6年間で学んだことを生かし、最後まで楽しく精一杯泳ごうとする意欲がうかがえます。2年生から5年生も1人1人が昨年よりも上げようと目標を立てて取り組んでいます。

今年度も5年生は着衣泳の授業を行います。水の事故は、海、川、湖などの自然環境において着衣のまま発生することが多いです。授業を通して、水の事故を未然に防いだり、事故に遭った場合に浮いたり、呼吸を確保したりして、自己の命を守る方法を学びます。水泳指導や着衣泳を実施の際には、ご準備をよろしくお願いいたします。

